



# 道德のとびら

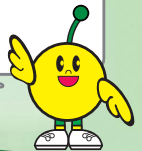
皆さんの地域にはどんな伝統行事がありますか。福島県にはその地域ならではのたくさんの行事があります。

中には何百年と続いているものや一度途絶えて復活したもの、時代に合わせ変化してきたものがあり、これらは、多くの人の思いや努力によって受け継がれてきた宝物と言えるでしょう。

「ふくしま道德教育資料集」にはこうした宝物を扱った教材がたくさんあります。ぜひ、ご家庭でいっしょにお読みいただき、故郷や伝統行事について話題にしてください。福島県には59の市町村があります。この紙面を通して、ふるさとの福島の伝統行事を見つける旅に出かけてみませんか。



ふくしま道德教育資料集はこちらから御覧いただけます。




## 心温まる 読み物がたくさんあります

**柳津町** 「はだかまいり」のはじまり  
はだかまいり 裸詣り

**南会津町** 舞台の上で  
子ども歌舞伎  
「君も舞台を経験したら、何かがわかるよ。」  
（「舞台の上で」より）

**浪江町** よみがえれ！安波祭  
あんばさい 安波祭  
「安波祭はどんな困難も乗り越えて千年以上も受け継がれてきた祭りなんだよ。祈りはどこにいたって通じるもんさ。」  
（「よみがえれ安波祭」より）



**南相馬市** 子どもの目  
てんじんさま くだ 天神様のお下り



**三本松市** たいこの音  
ちょうちんまつり  
「たいこの音を聞くと自分の町がほろしくなるからね。」  
（「たいこの音」より）

**相馬地方** 野馬追いに懸ける思い  
そらまのまおい 相馬野馬追

自分の地域の伝統行事

行ってみたい地域の伝統行事

## 心が動き体が動く！生き方を見つける道德教育 ～ 道德推進校の取組から～



### 地域のために何ができるか

会津農林高等学校

地域の「早乙女踊り」は、後継者不足で町の「保存会」が解散し、「御田植祭」での奉納が休止されました。3年後、踊り手を募集し復活させましたが、それだけでは継承が難しく、町から会津農林高校に協力の要請がありました。現在では、早乙女踊り保存クラブとして継承しています。生徒のほとんどが運動部や文化部と兼務しながら、「地域のために何ができるのか」を考え、「地域のために行動できる」ことを目標に活動を続けています。



### 地域の伝統文化を受け継ぐ

南会津町立田島第二小学校

田島第二小学校では、生活科の学習と道德教育との関連を図りながら小正月の伝統行事「だんごさし」を行いました。

地域の方から「だんごさし」には豊作や家内安全、無病息災などの願いがあることを教えていただき、願いを込めて「ミズキ」の枝に飾り付けしました。赤や黄、緑など色とりどりの団子が揺れる様子を見た子どもたちは、3学期を華やかな気持ちで迎えるとともに、地域の伝統文化に対する親しみと愛着を深めました。



# ふるさと ふくしま

# 伝統行事 の世界へ LET'S GO コンプリート!

## チャレンジのしかた

### 一人でチャレンジ

①～⑦のお祭りの写真はどれかな？あてはまる写真についているひらがなを入れてね！それぞれの市町村の伝統行事が分かったら地図の当てはまる市町村に色を塗ろう。

### 二人以上でチャレンジ

順番に一人一回ずつ挑戦。それぞれの市町村の伝統行事が分かったら地図の当てはまる市町村に色を塗ろう。一番多く色を染めた人の勝ち。1回戦が終わったら、作戦タイム。まだ塗れていない市町村を調べて、2回戦に挑戦してみよう！

みなさんの地域や近くの町には、どのようなお祭りや受け継がれてきた行事がありますか？  
59市町村すべての伝統行事を見つけられるでしょうか。家族や友達とチャレンジして、コンプリートを目指そう！

### ① わらじ祭り (ふ○し○市)

「わらじ音頭」は、この市出身の古関裕而さんが作曲したものです。わたしの学校の校歌も、古関さんが作曲しています。鼓笛パレードでは、古関さんの曲を演奏するのが伝統になっています。それぞれの楽器の音色が響き合うように、自分のパート練習を頑張りました。演奏がうまくいった時は、みんなで喜び合いました。(よりよい学校生活、集団生活の充実)



ど

こ

### ② 松明あかし (す○が○市)

市内の多くの中学校が、数ヶ月をかけて、松明づくりに取り組みます。それぞれの中学校には、松明の作り方を教えてくれる地域の先生が毎年来てくれます。松明が燃えつきるのを見届けながら、私たちの先輩もみんなで協力して、毎年松明を作り続けてきたと思うと、自分達が伝統行事の継承に貢献していることを実感します。(伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
---	---	---	---	---	---	---

## ふくしまのまつり

### ⑤ 桜まつり (と○お○町)

雲一つない青空に咲く満開の桜を見ていると、何だか心が「スーッ」とする。たくさんの桜が満開になった「桜のトンネル」をお母さんと通っていると「夜ノ森の桜は昔と変わらずきれいだね。」と目を潤ませながら話していたよ。いつまでもこの景色が続くといいな。(感動・畏敬の念)



こ

よ

### ⑥ だるま市 (し○わ市)

家内安全、商売繁盛などの願いをこめただるまが売られています。「最初は小さなだるまを買い、年を重ねる毎に大きなだるまを買うといいよ。」とおじいちゃんが教えてくれました。だるまの模様には意味があるので、よく見てほしいです。(家族愛、家庭生活の充実)



### ③ ふるさとの雪まつり (○だ○町)

この町は「ユネスコエコパーク」に登録され、自然と共存する社会づくりを目指しています。毎年、2メートル以上の雪が積もりますが、この雪が、大自然を守り、様々な生命を育んでいます。雪まつりには、地域の小中学生も雪像づくりに参加しています。大自然を感じながら、みんなで楽しく製作しています。(自然愛護)



ろ

お

### ④ 御田植祭 (会津○げ町)

このお祭りで奉納される早乙女踊りは、表紙で紹介されている会津農林高校で受け継がれています。一緒に稽古してきた仲間とともに踊りを奉納した時には、伝統文化の継承に役立てたことがうれしく、自分も地域社会の一員であることを実感できました。(社会参画、公共の精神)



る

### ⑦ 回転やぐら盆踊り大会 (い○市)

内郷地区の小学校では、公民館の方が来て踊り方教室が開かれます。私の家では家族みんなが踊れます。「習ってきたよ」と踊って見せたら、おばあちゃんが「こうするともっとかっこいいよ」と、張り切って教えてくれました。(家族愛、家庭生活の充実)



## 心が動き体が動く! 生き方を見つける道徳教育 ～ 人権教育推進地区・道徳推進校の取組から ～



### 人権感覚を育む

### 川内村立川内小中学園

川内村は今年度から、県の人権教育推進地域に指定されています。子どもが様々な「人」「もの」「こと」との関わりの中で、学ぶ楽しさや達成感、関わることのよさを実感できる授業づくり、地域や家庭と連携した子どもの健全育成を見守る環境づくりを通して、子どもの人権感覚を豊かにする教育を進めています。  
1学年では、自分が登場人物になって「友情、信頼」について体験を通して考えました。友だちとの考えの違いに気付き、そのよさを認め合いながら、改めて自分の考えと向き合うことができました。



### 自己を見つめなおす授業づくりを目指して 伊達市立松陽中学校

松陽中学校では、道徳科の授業で自己を見つめる振り返りの時間を大切にしています。特に、「できた経験」を具体的に見つめなおすことで、自分のよさを実感できるようにしました。写真の生徒は、「書道をあきらめないで続け、賞を取ることができた。自分は筆で字を書くことが好きだと、あらためて気付いた。」と力強く書いています。今後も自己を見つめなおし、よさに気付き、自己肯定感を高められるような道徳科の授業を目指していきたいと思ひます。





# 「モラル・エッセイ」コンテスト最優秀作品

県教育委員会では、毎年「モラル・エッセイ」コンテストを行っています。今回紹介するのは、令和4年度の部門別最優秀作品です。次は、みなさんの心温まる体験談やすてきなエピソードを、是非お聞かせください。

## \* 中学生の部 「揺れるポップと私の気持ち」

いわき市立小名浜第二中学校 2年 滝澤 飛雅

「てまえどりにご協力ください。」

目の前に突如として現れた葉っぱのようなお知らせがゆらゆら揺れて、私にアピールしてくる。先日、弟と買い物に行った際、このポップを読み、2人で相談して、一番手前に陳列されていた商品を買った。帰宅すると、母に、「賞味期限すぐ切れるじゃない。もっと新しい物はなかったの。」

と言われた。弟と何が正解だったのかを話し合ったが、答えはすぐに出なかった。

日本でまだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は、年間570万トン。毎日、大型トラック（10トン車）約1560台分の食品を廃棄しているというから（「政府広報」参照）驚きだ。

こんなに大量の食品が捨てられると知ったら「てまえどり」に協力したいところだが、5人家族の我が家では、日付の新しい物を買うことが多い。食パン・牛乳・納豆・玉子・・・、予定が変わって捨ててしまったらそれこそもったいない。もちろん、すぐに食べる時には「てまえどり」をするようにしている。

私の祖父母は二人暮らしだ。食材を小分けにし、工夫して料理しても食べる量は少ない。そうすると、祖父母には日付の新しい物の方が長持ちするので有り難いそう。

ある日、一緒に買い物に行くと、祖母は予定を考えながら棚の後方から商品を選んだ。その時に陳列を崩し、居合わせた店員に聞こえるように文句を言われた。私と祖母は悲しくなった。そんなに悪いことだろうか。どちらが善で、どちらが悪か。今のモラルはそれを瞬時に判断できないこともある。個々人に「食品ロス」を防ぐ気持ちがあるなら、商品を後ろから取っても良い場合もあるのではないだろうか。何かを考える時に、1つの価値観だけで善悪を決めつけず、みんなで最善策を考え、見守り合える優しい社会になったらと、揺れるポップに私の心も揺れた。

## \* 高校生の部 「母の言葉」

福島県立好間高等学校 3年 石井 凜

土曜日の部活の帰り、丁度いいバスの時間がなかったため、運動がてら歩いて帰ることにした。

私がいつもバスで通っている道を歩いていると、人がたくさん集まっているのが見えた。私は一瞬、近くにきれいな駄菓子屋さんができたから混んでいるのだらうと思った。しかし、車も混んでいて全然進まないで違和感を持ち、様子を見に行くことにした。様子を見に行くのと女の人と車が接触事故を起こしてしまっていた。女の人は、倒れ込み腰をおさえていた。一人の女の人の「ご家族の方ですか」と声をかけられた。その女の人の手には接触してしまっただ女の人の免許証とメモ用紙を持っていた。私は、「家族じゃないです。通りがかりです。」と答えた。その女の人の他にも、日傘をさして気分が悪くならないようにしてくれている人や、救急車を呼んでくれている人、自転車を移動してくれている人、散らかってしまった荷物をまとめてくれている人、家から氷を持ってきて腰のあたりを冷やしてくれている人などたくさんの人が協力していた。私も散らかってしまった荷物の片付けを手伝った。すると、一人の男の人から、「高校生なのに通り過ぎないで立ち止まってくれてありがとう、助かったよ。」と言われた。何も出来なくて焦っていたため私は、とても嬉しかった。

その後、帰り道で、小さい時から母に言われた言葉を思い出した。「困っている人を見つけたら、考える前に助けに行きなさい。」この日私は、母の言葉の通りに少し出来た気がした。

私は、通りがかりに助けていた方々を見て、私は常に親切な心を忘れない人、そして、すぐ行動に移すことができる人になりたいと思った。私はこれから先、困っている人をすぐに助けに行くような、看護師になりたいと思っている。

## \* 一般の部 「休日の遊園地」

渡邊 定行

3年生の修学旅行に引率した時のことです。USJの人気アトラクションは、長い列ができていました。そんな光景を見て、あることを思い出しました。

福島市に児童公園があります。乗り物もいくつかあり、休日は家族連れで賑わいます。一番人気は“わくわくトレイン”です。私も子どもと列に並びました。五両編成の電車は定員1回20名。なかなか順番が回ってきません。待っている親子もイライラしてきます。「まだなの？早くしてよ！」と、不満を口にする親もいます。

「次は乗れるかなあ？」

と、私の前にいた小さな女の子がお母さんに言いました。お母さんは、にっこり頷きます。

「ご乗車ありがとうございました。足元に気を付けてお降りください。」

係員の誘導で、電車から人々が降りてきて出口に向かいます。それと同時に、前にいる母娘も、そして私たちも入場口に足を進めます。係員が、入場する人を数えています。

「17、18、19、はい、ここまでです。」

係員が入場を止めたのは、無情にも小さな女の子と母親の前でした。女の子は泣き出しそうです。

残念がっている娘に、お母さんは何と声をかけるのだろう。「残念ね。」ならまだしも、「何分待っていると思っているの？」と不満を口にしないだろうか。私はドキドキして様子を見ていました。でも、お母さんの言葉は私の悪い予感を見事に裏切ってくれました。

「○○ちゃん、良かったね！次、一番前に乗れるわよ！」

その言葉に女の子はすぐに、万歳しました。

ピンチをチャンスに、失望を希望に、悲しみを喜びに変えたお母さんの一言でした。今から20年も前の話ですが、私の心にずっと温かく残っています。